

令和3年度第4回狛江市教育委員会の自己点検及び評価に関する
審査委員会会議録

1 日 時 令和4年2月25日（金）午後7時～7時30分

2 場 所 Web会議

3 出席者 委員長 押尾 賢一（学識経験者）
委員 惣川 ひさえ（市民委員）
委員 氏家 嘉代（市民委員）

事務局 高橋 治（学校教育課長）
佐々木 淳樹（学校教育課教育庶務係長）
石渡 和香子（学校教育課教育庶務係）
三角 紳太郎（学校教育課教育庶務係）

4 欠席者 副委員長 渡辺 秀貴（学識経験者）

5 傍聴者 なし

6 議 事 1. 議題

（1）令和3年度狛江市教育委員会の自己点検及び評価に関する審査委員
会答申について

（2）その他

7 会議概要

委員長 これより、令和3年度第4回教育委員会自己点検及び評価に関する審査委員会を開催する。まずは事務局から、本日の資料の確認をお願いする。

（事務局より資料確認）

委員長 資料に不足等なければ、次第に従い、議事を進める。

議題1 「令和3年度狛江市教育委員会の自己点検及び評価に関する審査委員会答申について」、審議する。事務局より説明をお願いする。

(事務局より資料1に基づき概要説明)

委員長 それでは、議論を進めていく。まず、「令和3年度狛江市教育委員会の自己点検及び評価に関する審査委員会答申について」の部分について、順次意見を伺う。

惣川委員 私が発言した内容、思っていたことが盛り込まれているため、追加の意見はない。うまくまとめていただき感謝申し上げます。

氏家委員 私も追加の意見は特にないが、オンライン授業になることによって、先生方の負担が増えるのではないかと心配している。保護者の立場からも協力できることがあると思う。

惣川委員 近所の小学生の保護者から伺ったタブレット端末の重さの問題を最も心配していたが、審査委員会での話し合いをとおして、現状を理解することができた。保護者は現状を理解し、先生方と一緒に少しでも解決できる方法を模索していく中で、今後、結果がついてくると信じている。私も若い世代をはじめ、多くの方と話し合っていきたい。

氏家委員 私自身が子育てをしていたとき、行きたい講座があっても行けないことが多かった。現在はオンラインで講座が受講できるようになるケースも増え、とてもありがたい。例えば、子どもが寝た後に母親が見れるような、保護者向けの講座等があると良いと思う。また、前回、養護教諭にとって、子どもたちの欠席連絡の入力作業はそこまで大変ではないと伺ったが、文書の作成や情報の入力に限らず、仕事は色々と手間が伴うものである。先生方が授業準備や子どもたちのことに専念できるよう、プロやサポートの方に任せられる業務は任せても良いと思う。

委員長 先生が授業の様子を動画で配信するという事例の紹介もあった。若手の先生方の挑戦する姿勢や柔軟な発想に期待し、そうした活動を応援していきたい。また、働き方改革の観点からも、既に様々取り組んでいるところだが、先生方を支援する仕組みを構築することで、少しでも負担が軽減されればと考える。

二人の委員から御意見をいただいた。答申案については、最終的には事務局と私に一任願いたい、どうか。

<了承>

委員長 それでは、議題1はこれで終了する。本日いただいた御意見を踏まえ、私と事務局で文言調整を行い、この審査委員会からの答申書としたい。次に、委員としての感想・意見等を伺いたい。

惣川委員 市役所で顔なじみの職員と話をする中で、地域住民から寄せられる市の課題について、職員の方々も同じように悩んでいることが分かった。職員の方々も真剣に考えてくださっているが、なかなか解決策を見出せない。地域住民も一緒に考えていかなければならないが、考える場所が見つからない。現在、シェアハウスのような新しい形の小さなコミュニティも生まれている。愚痴を聞いてもらったり、面白い話をしたり、一緒に笑い合ったりというやりとりができる居場所が地域にあってほしい。

氏家委員 新型コロナウイルス感染症が長引く中で、市の職員と先生方が子どもたちのため、本来の教育以外のことで忙しくなり、計り知れない御苦勞があると察している。長期の計画も立て辛く、大変な中で様々な対応をしていただき、感謝している。変わらず元気に過ごしている子どもたちの姿を見て、子どもたちが少しでも楽しく学校生活を送ってもらえればと思う。来年度のコミュニティ・スクールの導入に際して、協力できることがあったら協力したい。

委員長 コミュニティ・スクールだが、学校の先生だけでなく、地域住民も交えて、地域のみんなで学校づくりを行う取組みである。それぞれの地域が自分たちに適したやり方を模索していただきたい。最後に、事務局から連絡事項をお願いします。

学校教育課長 本年度も皆様の助言をいただき、委員会を終了することができた。いただいた答申を今後の事業活動に活かしていきたい。来年度から地域の皆様に学校運営に参加していただくコミュニティ・スクールの取組みが始まる。社会教育課では、地域の皆様に学校の活動を手伝っていただく、地域学校協働活動事業が既に始まっている。それをきっかけとして、地域の方の手伝いたいという想いと、地域の人材をどう活かしていくか、

これらをぜひつなげていきたい。

委員長

これで令和3年度の狛江市教育委員会の自己点検及び評価に関する審査委員会を終了する。